

SAIDAIJI JC REPORT

～心を受継ぎ、心を育み、心を繋げ～

基本方針

- 一、 継承していくもの進化させていくものを見極め、JC運動を行う
- 二、 青少年の心身育成
- 三、 地域の率先リーダーとしての自覚を持ち、会員の資質を向上する
- 四、 明るい豊かな社会の実現へ向けて、会員を拡大する



西大寺
青年会議所
広報誌

発行所

社団法人

西大寺青年会議所

発行責任者 小川大志

発行責任者 一井暎子

編集責任者 長谷川豪範

一年を振り返って

社団法人 西大寺青年会議所
二〇一〇年度理事長 小川大志

二〇一〇年度スローガン『「心」心を受継ぎ、心を育み、心を繋げ』のもと、二一名の現役メンバーと心をひとつに、青年会議所運動を邁進して参りました。また本年度は、西大寺会陽はだか祭り、五〇〇周年、そして我々西大寺青年会議所は創立五〇周年という、記念すべき節目の年でもありました。節目の年ということもあり行う事業も多く、本日に二一名という少ないメンバーで五〇周年記念式典・記念祝賀会・五〇周年記念事業と、それに加え例年の継続事業と、本当にこれだけ多くの事業をやり遂げることができるのであるのか、という思いを私だけではなく、メンバーも少なからず抱いていたことと思えます。しかし、今一年間を振り返ってみるとその時の不安は、素晴らしいメンバー、そして頼もしいメンバーのお蔭でいらぬ心配であったと思っております、メンバーに対して深い感謝の気持ちでいっぱいです。

事業では、少年はだか祭りの開催時間が夕方から日中へと本年度変更となりました。例年とは違い明るい

今回の内容

事業報告

役員達の一年を振り返って(各理事)

- 吉井川フェスタ二〇一〇・九月例会
- 岡山ブロック第三回会員研修会への参加
- 西大寺小学校 あいさつ運動・一〇月例会
- 親睦会・国民文化際オーブンングフェスティバル
- 十一月例会・創立五〇周年を頑張ってくれた現役会員を慰労する会
- 記念事業第三弾 バリアフリー点字付き 案内看板の寄贈
- ごふくまつり・一二月例会
- ポレイスカウト西大寺第四回記念プレート設置・解団式・卒業式

時間帯での開催となり、我々はこんなにも多くの観客の前で毎年行っていたのかと驚き、そして感動したことを今でも鮮明に思い出します。地域の方から祝福され、誇らしげに騎馬の上でガッツポーズを決めている福男児、惜しくも宝筒を取れず悔しがっている少年、そして参加している青少年を寒い中必死で応援している地域の人々。本当に様々な人の表情や感情を見ることができ、改めて私たち郷土の素晴らしい伝統文化であると心から感じた年でもありました。

また本年度は、我々の行動指針であるブルーエリア宣言文の中の「心豊かで人にやさしい、福祉とバリアフリーのまちづくり」をテーマに三つの記念事業を行いました。その中の一つとしてチャリティー映画祭を開催し、二三〇〇名もの多くの市民の方々に楽しんで頂く事ができました。またその映画祭で募ったチャリティー募金二四万円を、盲ろう者支援募金として寄付をすることもできました。多岐に渡る多くの方々へご支援ご協力頂いた事への感謝の気持ちと、我々のように少ないメンバーであってもこれだけ多くの方や地域の方に喜んで頂ける事ができるのだと、今後に繋がる大きな自信を掴むことができました。

本年度、五〇周年記念式典・記念祝賀会、周年事業、国民文化祭事業、そして通年事業と本当に忙しく、そして多くの事業を行ってまいりましたが、理事長所信の中に記していた「受継いでいくものを心で受けとめ継承していくもの、進化させていくものを見極めながら明るい豊かな社会の実現に向けて邁進する」ということを各委員長、そしてメンバー一人ひとりが大事にしてくれたように思っております。

その二一名のメンバーの熱き想いと力が結集し、どの事業も素晴らしいものであり、感動と感謝の気持ちばかりを感じる一年でもありました。私はメンバーみんなから担ぎ上げて頂き、なんとかこの重要な節目の年の理事長を務め終えることができました。本当に幸せな一年間であり、私の人生の中でも宝となるこの一年間を、支えてくれたメンバー全員に、心から、心から深く感謝申し上げます。本日にありますがとうございました。

一年を振り返って

直前理事長 石井 亮

本年度は直前理事長として LOMのサポートをすると共に、岡山ブロック協議会に監査担当役員として出向させていただきました。ブロックに役員として出向するのは初めてでしたが、JCI生活最後の年にLOMでは経験することの出来ない多くの楽しい思い出を作ることが出来ました。これも理事長をはじめとするメンバーの皆様の支えがあってこそだと思います。皆様本当に一年間ありがとうございました。

一年を振り返って

副理事長 長田 智宏

本年度、小川理事長のもと副理事長として地域連携推進委員会の担当をさせていただきました。担当させていただいた赤木委員長率いる地域連携推進委員会は、(少年はだか祭り)と(吉井川フェスタ)とロムの大きな事業を請け負い、一年を通じて忙しい委員会でありました。また今年度は、西大寺青年会議所の創立五〇周年でもあり、更には国文祭も追加されロム自体が近年にないほど大変忙しい一年となりました。私自身、副理事長として理事長のお役に立てず、赤木委員長のサポートも殆どできず、反省すべき一年だと思えます。また、西大寺青年会議所が創立五〇周年という記念すべき年に現

役員として在籍できたことは大変光栄であり、感謝しています。メンバーの皆様にはご迷惑をお掛けしたこともありましたが、皆様のおかげをもちまして一年を無事終えることが出来ました。一年間本当に有り難う御座いました。

一年を振り返って

副理事長 中山 稔之

二〇一〇年度社団法人西大寺青年会議所の副理事長を小川理事長のもと一年間務めさせて頂きました。

親睦研修委員会の担当副理事長としての事業は新年祝賀会、会陽懇親会、三JCI野球大会、新会員研修会、第八一回ブロックじゃがいも大会、親睦会や例会の運営等々様々な事業を受け持つ事になりました。年当初には委員会と執行部の橋渡しをしたと言いましたが、委員長がしっかりといるのを良い事に、また日本の出向がある事を良い事に、その担いが疎かになってしまいました事お詫び致しますと共に、理事長、執行部の皆様そして委員長に感謝致します。初めての副理事長と言う事で理事長の代役で国文祭の会議に参加させて頂いたり、新年祝賀会での閉会の挨拶や、会陽懇親会での閉会挨拶等々色々な役割を与えて頂いたりしました。また、創立五〇周年では来賓や特別会員の方々をお出迎えをさせて頂き、記念式典ではJCIクリード(The Creed of Junior Chamber International)を唱和させて頂きました。最後に

なりませんが私の様な者を副理事長に選任頂きました理事長に感謝を致しまして、私の副理事長報告とさせて頂きます。

一年を振り返って

五〇周年実行委員会 実行委員長 井上裕嗣

本年一年間、(社)西大寺青年会議所、五〇周年実行委員長を務めさせて頂きました。思い起こせば昨年の秋、小川理事長から五〇周年に関する全てを取り仕切る実行委員長を務めて欲しいとの打診を受けて困惑し、身の丈に合わない、あまりにも重たい大役を、とても自分では務めることが出来ないと感じ、実行委員長になることを一度はお断りしました。その後、私を二〇代の頃から導いて下さった敬愛する特別会員の方々から、実行委員長はきつとできる。そして周年の実行委員長というのは、やる価値のある役であり、貴重な経験になるはずだとお話しをお伺いし、ついに実行委員長になる決意を固めました。受けて以後の数ヶ月は本当に苦悩と挫折の連続で、なぜこのような大役が、自分で務まると思ってしまうのかと、幾度も自らの考えの甘さに後悔する日々をおくりました。しかし、折れそうになる心を特別会員の先輩方に支えられ、言葉だけでなく本当に献身的にサポートをしてくれた坪井副実行委員長に支えられ、そして現役会員のみんなに支えられ、何とか五〇周年実行委員長としての一年間を終えることができました。

式典・祝賀会の最後に泣き崩れてしまった私に、特別会員の皆様は手を差し伸べて下さり、「ほんとうにすばらしい周年だった。」と心が震えるほどの嬉しい言葉を下さいました。そして特別会員の皆様からのご好意で開催して下さった「五〇周年でがんばった現役員を慰労する会」はそのお気持ちが何より嬉しく、その席でもたくさんのあたたいお言葉を頂き、五〇周年実行委員長を受けて本当によかった、と心から感じる事ができました。

感動の記憶を報恩感謝の気持ちに代え、今度は理事長としてJCI運動に邁進していく所存でございます。皆様におかれましては、次年度以降も相変わらぬご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。本当にありがとうございます。



一年を振り返って

会員拡大対策室 室長
五〇周年実行委員会
副実行委員長 坪井 綾広

何かに導かれるように開催された「五〇周年記念事業瀬戸内市チャリテイ映画祭」。福祉とバリアフリーのまちづくりを目的にした事業は、障がいを持った人と一緒に喜びを分かち合える事ができました。五〇周年式典、祝賀会ではオーブンングで我をも忘れるほど緊張していた事を思い出すと、いつの間にかJICが大好きになっていた事に気付かされました。式典、祝賀会が終わると、特別会員の方だけではなく、ご来賓やホテルのスタッフ、設営にあたる様々な方から「今回の五〇周年、本当に感動したよ！」とお言葉を頂きました。

また十一月には、野口信一先輩を中心として、特別会員の皆様より前代未聞の慰労会を開催して頂き、喜びの火は消える事がありませんでした。二〇一〇年は会員拡大対策室として、有効的な拡大が出来ていなかったのですが、なんとこの慰労会で、新会員候補者探しの協力依頼書が出回っているではありませんか。これには本当に感激致しました。現役としてお願いはしていませんが、特別会員の皆様、現役の為に候補者探しをしてください。西大寺青年会議所にはOBも、現役もなく、まちの為、人の為、様々な想いを大切にする人の気持ちで繋がっているのだと確信しました。

そして記念事業第三弾、バリアフリー点字つき案内看板の寄贈除幕式が西大寺観音院で執り行われ、式が会場や境内の文化財についての、八本の案内看板は、眼の不自由な人でも読んで頂けるよう、バリアフリーを目指したものでありました。さっそく観光客の方々が関心しながら読んでいる姿に、メンバー一同満足感を覚えました。

本年はこうして、本当に素晴らしい一年を過ごさせて頂く事ができました。会員拡大は積極的には出来ませんが、周年のお陰もあってか特別会員の皆様と強い絆が出来たように思うので、来年以降会員拡大への後押しも期待出来そうです。最後に、この五〇周年という本当に貴重な一年を体験させて頂いた皆様に感謝いたします。

一年を振り返って

専務理事 三枝 克守

二〇一〇年度は、小川理事長のもと、専務理事を務めさせて頂いた頂きました。

理事長と行動をともにさせて頂いたことが非常に多く、理事長職が激務であるということをはっきりと知ることができました。また、他LOMの専務理事さんとの交流を通じて、専務理事としての在り方をあらためて勉強させて頂いた。いい機会となりました。

担当の総務委員会に関しては、年初から業務が滞るなど、なかなか順調な一年だったとは言いがたいですが、メンバーの皆さんにご協

一年を振り返って

総務広報委員会
委員長 一井 暁子

一年前を思い出すと、総務広報委員会の役割も、委員長の責務もJICとは何か、も、本当に分かっていなかった自分がいます。そのため、メンバーをはじめ、皆さまにはご迷惑をおかけすることが多く、申し訳なく思っています。しかし、私自身にとってはとても勉強になる一年間であり、小川理事長に機会を与えていただき感謝しています。短いJIC経験の中で、この一年がなければ、得られたものの大きさは全く違っていたと思います。また、頼りない委員長を、専務や委員会メンバーに支えていただき、何とかやってこれました。そのありがたさは言葉にできません。

監事 山本 訓生

一年を振り返って

この一年は、何といっても「五〇周年」につきる一年でした。私にとつて最後の年でもあったのですが、今年はなかなかJIC活動に参加できなく、それは少し残念ではあります。その中で、周年を通して、自分自身が所属した「西大寺青年会議所」の歴史を垣間見ることができ、その中で受け継がれてきたものを感じることができました。

卒業したら終わり、ではなく、卒業後の活動こそが大切だと思えます。入会以来出会ったすべての方に感謝しています。ありがとうございます。

一年間を振り返って

地域連携推進委員会
委員長 赤木 朋央

本年度、小川理事長の下、地域連携推進委員会の委員長を務めることが出来ました。これも、ひとえに長田副理事長を初めとする委員会メンバー、そして小川理事長を初めとする現役メンバーのおかげだと思っております。

本年度委員会の基本方針として「地域の方々と連携を取りながら、地域で行われる様々な事業に協力し開催することで、地域の活性化及び伝統文化を継承し、明るい豊かなまちづくりを推進する」を掲げ邁進してまいりました。

主な事業として、第三十九回少年はだか祭り、わっしょいカーニバル、地域との交流事業、社会福祉ふれあいの集い、ごぶくまつりと地域の方々と一緒に行う事業が多かったように思います。

いづれの事業もメンバーと他団体の協力が不可欠であり、ご協力頂きました皆様方には感謝申し上げます。

最後になりましたが、本年度様々な事業をするに当たり、ご協力頂きました関係者の方々、青年会議所メンバーには心より厚く御礼申し上げます。

一年を振り返って

親睦研修委員会
委員長 塩崎 鉄司

本年度、親睦研修委員会を務めさせていただきました。親睦と研修の委員会と言う事で一

年間、様々な事業を展開して参りましたが、個人的には自分なりに達成感もある傍ら、いろいろなやり残した感もあります。親睦とは何か、研修とは何か、と言うことをもう少し、深く考えて行けば良かったように思います。

しかしながら、この委員会の事業はメンバーの参加があつて初めて成立する事業ばかりであり、またメンバーの協力がないと運営は難しい事業ばかりでありました。様々な事業が無事達成できたのもメンバーの熱い友情があつてのもので改めて感じました。

小川理事長を初めメンバーの皆様、一年間本当に有難う御座いました。

最後にこの一年間頼りない委員長を支えて頂いた、若いながらも副委員長を快く引き受けて頂いた國本副委員長を初め、新会員でも毎回委員会に出席して頂いた岡崎君、さらに私より年長にも関わらず、庶務等を喜んで引き受けて頂いた小野田君、そして副理事長として時には委員会の盾になって頂き、また様々なアドバイスを頂いた中山君の四名には大変感謝しております。

事業報告

吉井川フェスタ二〇一〇

去る八月二二日に吉井川フェスタ二〇一〇「吉井川源流探検ツアー」が開催されました。岡山市、瀬戸内市の小学生八名と実行委員会メンバー一五名で鏡野町上齋原まで行き、吉井川の源流を求め、恩原山国有林を散策しました。山を登り吉井川源流の碑に到着し記

念撮影、山中では危険なところが多々有りましたがメンバーのおかげで子どもたちを安全に引率することが出来ました。源流の碑のすぐ下に吉井川の源と言われる水が岩の下から湧き出ており、子どもたちに見せることが出来ました。同国有林を流れる恩原川にひらめ(アマゴ)の稚魚を約二〇〇匹放流、下山後上齋原文化センター北側斜面にオオヤマザクラ、ブナなどの苗木を一〇本記念植樹して頂きました。少人数ですが、この事業を通じ自然の大切さ、吉井川について知ってもらうことが出来たとおもいます。

地域連携推進委員会
委員長 赤木朋央



九月例会

今月の例会ではアナウンサーで社会保険労務士の上村明子講師をお招きし、「やる気のである！モチベーションアップ術」と言う演題で講演をして頂きました。お話を

頂いた中の一つで「マズローの欲求段階説」と言う説を説明されましたが、人間の欲求には五段階あつてまず第一段階に「生理的欲求」つまり生存にとって必要な食欲・睡眠欲などがあつて、第二に「安全への欲求」で安全に生活したいという欲求になり、第三に「所属・愛情への欲求」で他人と関わりたいや仲間に入りたいたいといった欲求となり、第四に「承認・尊敬の欲求」で人から価値ある存在として認められ、尊敬されることを求める欲求となつて、最後の第五段階に「自己表現欲求」で自分の能力、可能性を発揮し夢や目標を現実したいと言う欲求になるそうです。つまり第一段階の「生理的欲求」が満たされないと次の「安全への欲求」は考えることも出来ないと言ふことです。個人の向上心を上げるにはそれらの段階を考慮した上で一つでも上の段階の環境を整えなければモチベーションを上げるどころか逆に下げしてしまうと言ふ説でした。普段の生活では考えたこともない話でしたが、他にも色々説明して頂く内に、メンバーも非常に参考になり且つ、興味の沸く話ばかりでずっと集中して聞いていました。

親睦研修委員会
委員長 塩崎 鉄司



岡山ブロック第三回
会員研修会への参加

九月一日、陸上自衛隊・日本原駐屯地へ会員研修会として体験入隊しました。団体としての規律を学ぶということで基礎教練ではグループ全体で足並みを揃えた行進を延々と指導を受けました。一日では多くを経験することは適いませんでしたが、集団行動をする中で貴重な体験をさせて頂く事が出来ました。最後に七四式戦車に乗せて頂きましたがこれは、興奮がありました。設定して頂きました岡山ブロック協議会・会員研修委員会の皆様、有難う御座いました。

親睦研修委員会
委員長 塩崎 鉄司



西大寺小学校 あいさつ運動

一〇月八日早朝より西大寺小学校にてあいさつ運動が開催されました。本年度第二回目のあいさつ運動と云うことで、児童とのあいさつも積極的に行われたと思います。また、吉井川フェスタに参加してくれた児童とも再会する事が出来ました。この運動を通じて元気な街づくりが出来ればと思います。

地域連携推進委員会
委員長 赤木朋央



一〇月例会

一〇月一三日に岡山商工会議所西大寺支所にて一〇月例会が開催されました。操山労務管理事務所所属の中谷氏を講師にお迎えし、講師例会を設営させて頂きました。内容は、マナーについてお話し頂き、一般的なマナーを初め、様々なマナーについて知ることが出来たと思います。今後の活動で今回学んだマナーを活かして行ければと思います。

地域連携推進委員会
委員長 赤木朋央



親睦会

一〇月一七日、快晴のもと犬島において、親睦会が開催されました。釣り大会や島内観光をして、参加者全員リフレッシュ出来たとお思います。釣果の方はまずまずでしたが、上級者も初心者も、真剣に釣りをしていました。犬島は大変のどかで昔の町並があり自然を感じ、本当に情緒豊かで、ゆっくりと時が流れていく、どこか異国のような感じがしました。是非機会がありましたら今後訪れたらと思います。

親睦研修委員会
委員長 塩崎 鉄司



国民文化祭
オープニングフェスティバル

日本最大の文化の祭典「国民文化祭」は、本年度岡山県で開催されました。
私たちの郷土西大寺の伝統文化である会陽はだか祭りにちなみ、「少年はだか祭り」が岡山の伝統文化として選ばれました。
オープニングフェスティバルの舞台上に西大寺地域の児童七名とともに、出演いたしました。
会場は皇太子殿下、そして二三〇名の多くの観客の前で、私たちも子どもたちも緊張するのではないかと心配をしておりましたが、会場全体に響きわたるほど元気に

「わっしょいっ！わっしょいっ！」の掛け声で会場を大いに盛り上げることができました。
参加した児童、そして私たちメンバーや地域の皆様の「心」に残る良い事業となりました。

地域連携推進委員会



一月例会

一月一〇日（水）一月例会が開催され、例会アワーでは特別会員でもある、学芸館高校の校長森靖喜先生より「転換すべき教育」と題しご講演を頂きました。学芸館高校は西大寺JICと同じく五〇周年を迎え、それを記念した番組を制作されたのですが、講演会ではこの先日放映されたばかりの映像を中心に話が進められました。学芸館高校の授業には成功者のプロセスの共通項を分析したビジネス書を授業に取りいれたり、神道、仏教、儒教という日本古来の宗教を一つの価値観として学校生活で教え込むなど、素晴らしい教育理念がありました。
二〇一一年度は転換すべき教育について更に踏み込んだ、森先生の第二弾のご講演が引き続き予定されており、メンバー一同楽しみにしております。

五〇周年実行委員会
副実行委員長 坪井 綾広



創立五十周年を頑張ってくれた
現役会員を慰労する会

一月一八日（木）西大寺グラウンドホテルにおいて、特別会員の皆様より創立五十周年を頑張ってくれた現役会員を慰労する会」を盛大に開催していただきました。
当日は第二代理事長、野口信一先輩をはじめとされます五〇名以上の多くの諸先輩方に設営していただき、現役会員全員が身の引き締まる思いでさらにこれからのJIC運動に活力を与えて頂いたと思っております。特別会員の皆様、本当に有難う御座いました。

親睦研修委員会
委員長 塩崎 鉄司



記念事業第三弾
案内看板の寄贈

昭和三五年一月二十九日は西大寺青年会議所の創立記念日に当り、これを記念として、先月西大寺観音院に点字付き案内看板が寄贈されました。これは創立五〇周年の記念事業として「福祉とバリアフリーのまちづくり」をテーマに、本年度陽五〇〇周年を迎えた西大寺観音院へ寄贈したものであります。目の不自由な人でも点字で読むことが可能な看板を、さっそく地域の方々が喜んで見つめておりました。

点字付き案内看板登場

西大寺観音院

JCIが50周年記念し設置

西大寺観音院の歴史、文化をより知られる西大寺観音院(岡多)の人々に知ってもらおうと、市内東区西大寺にて、敷地、西大寺青年会議所(小地内の建物)を紹介した、点字付き案内看板が寄贈されました。

敷地内の建物を紹介

西大寺青年会議所

五〇周年実行委員会
副実行委員長 坪井 綾広

ごふくまつり

一二月四日(土)国文祭でお世話になりました、地元小学校である西大寺小学校にて、「ごふくまつり」が開催されました。前日はすごい雨でしたが当日は晴天となり無事開催することが出来ました。当日は餅つきのお手伝いと、体育館でイベントを開催いたしました。餅つきは例年通り白を一つ受け持ち、イベントでは「新聞紙を使ったバック作り」と題してエコバックを作成しました。イベントも大盛況のうちに終わることが出来ました。当日作り方の資料を持って帰られた方は自宅でも作成してみてください。

地域連携推進委員会
委員長 赤木朋央



一二月(100%)例会

一二月八日(水)本年度最後の例会となる一二月例会が開催されました。最後の例会は一〇〇%例会となりました。委員会アワーでは「一年間を振り返って」と題して皆様から報告を頂きました。皆様からの熱い想いを報告していただいたため少々時間が過ぎましたが、本年度例会の締めとして良い例会になったと思います。

地域連携推進
委員会 赤木朋央



ボーイスカウト

西大寺第四団記念プレート設置

我々(社)西大寺青年会議所が母体となり、長年にわたり青少年の健全なる育成及び地域の発展に貢献してきたボーイスカウト西大寺第四団がこの度会員の減少等様々な理由により平成二二年一月を持って解団する運びとなりました。一九六二年の発団より二〇一〇年の解団までボーイスカウト西大寺第四団が存在していた証として発団に際し最もお世話になった昭和被服総業(株)の敷地内に記念プレートを設置させて頂きました。

発団より今日までお世話になりました関係各位には心より深く御礼申し上げます。

地域連携推進委員会
委員長 赤木 朋央



ボーイスカウト
西大寺第四団 解団式

一二月一八日にボーイスカウト西大寺第四団の解団式が執り行われました。
当日は歴代指導者をはじめとされます方々が参加され、華々しく式が開催されました。当日は発団当時の写真を取り入れたスライドショーが上映され昔話に花が咲いていました。今まで指導者のトップとしてご指導頂きました羽原団委員長をはじめとされます歴代指導者の皆様、指導者の下団委員として青少年の健全なる育成に関与されてきた方々お疲れ様でした。

地域連携推進委員会
委員長 赤木 朋央



卒業式

一二月二〇日西大寺グランドホテルにて感動の卒業式が開催されました。本年度は三名の会員がご卒業されると言うことで、卒業生のスポンサーをはじめとされます特別会員の方々にもご出席頂き華々しく開催することが出来ました。当日はスライドショーを取り入れた経歴紹介、おちゃらけ卒業証書、懇親会の場ではマジックショーを行いました。当日ご出席頂きましたスポンサーの方々をはじめ特別会員の皆様、現役会員の方々には深く御礼申し上げます。卒業生の方々、ご卒業おめでとう御座います。

地域連携推進委員会
委員長 赤木 朋央



あとがき
本年一年間、広報誌発行に伴い、諸先輩方や商工会議所の皆様、現役会員の皆様には多大なご協力を頂き誠にありがとうございました。また年当初特別会員の先輩方から寄稿文をいただく予定でしたが、初回のみ掲載となりましたことを、この場をお借りいたしましてお詫び申し上げます。

発行日 平成二十二年一二月吉日
発行責任者 小川 大志
発行責任者 一井 暁子
編集責任者 長谷川 豪範
発行所社団法人西大寺青年会議所